



Ambassade de la République Togolaise au Japon// トーゴ共和国大使館

N°004 – Août/Sept 2012 en français et japonais//2012年08-09月フランス語及び日本語

目次

SOMMAIRE

Editorial (suite).....P2
論説.....P2

A la découverte
du Togo.....P2
トーゴを知る.....P2

(suite) A la découverte
du Togo.....P3
トーゴを知る.....P3

(suite) A la découverte
du Togo.....P4
トーゴを知る.....P4

Club des amis du
TogoP4
日本トーゴ友好協会...P4

Photo du mois.....P4
今月の写真.....P4

©ambatogojapon

EDITORIAL

論説



Chers lecteurs,

UN AN DE PARUTION

Nous sommes heureux de célébrer avec vous la première année de parution de Togo Shimbun, le magazine de l'Ambassade du Togo qui vous permet, à chaque lecture de découvrir le Togo dans toute sa diversité.

Nous espérons avoir été à la hauteur et que les publications on été à la mesure de vos attentes.

Nous espérons surtout que la lecture des différents numéros de notre magazine vous a donné le goût de découvrir encore plus le Togo et nous vous encourageons vivement, pour ce faire à effectuer le voyage de ce beau pays qui donne à l'Afrique son sourire.

Un an de parution de Togo Shimbun nous donne également l'occasion de remercier tous ceux qui, à travers leurs articles inspirés de leurs expériences au Togo, nous ont permis d'enrichir nos parutions successives.

Nous voudrions ici adresser une mention spéciale aux membres du club d'amitié Togo-Japon ainsi qu'à vous chers lecteurs car sans vous, le magazine n'existerait pas.

Une nouvelle année s'annonce pour le magazine et nous espérons être meilleur.

A.D. AKLESSO BODJONA

Chargé d'Affaires a.i.

Ambassade du Togo au Japon





まずはなぜ自分がトーゴという国をインターン先に選んだのかということをお話させていただきます。アフリカの国にインターンに行った先輩の話聞いてものすごく衝撃を受けて、それ以来アフリカに行ってみたくて思い続けていたということ。インターン先を探すうえで相手側の対応がとてもよかったこと。そしてそんな中でもあまり知られていない国がよかったということが主な理由です。

そして次に現地で実際にどのような活動をしたのか、ということ。僕のインターン内容は HIV/AIDS の啓発活動でした。具体的には3つのこととなります。1つ目はミーティングの参加。ここでどのような方向性で活動していくか、どんな人を対象にして活動するか、などのことを話し合いました。このミーティングがプロジェクトの基盤となりました。結果的に、インターン生が帰った後も継続して活動できる仕組み作りという方向性の下、10~15歳くらいの人たちを対象にするということになりました。そしてそのために他の学校、団体を訪問してエイズについてのセミナーのようなものをさせてもらえないかお願いして回りました。結果、4つの学校、1つの団体に協力していただけることになりました。しかし、それだけ多くの人々が関わってくることになったために日程調整が難しくなり、結局何もできないまま時間が過ぎていきました。インターン終了5日前になってようやく初めてのセミナーを実施することができ、最終的に2つの学校で行うことができました。

インターン生として相手のためにできたと思えることは正直ほとんどありません。しかし、言葉の壁はあっても人はつながれる、何にしたっていくらでも可能性はあると感じました。

刊行始めて1周年

読者の皆様、

おかげさまで、「トーゴ新聞」の刊行を始めてから、1周年を迎えることができました。「トーゴ新聞」は、読者の皆様にトーゴの多様性について知っていただけるように当大使館が発行している刊行誌です。

私どもの刊行誌が、皆様の期待に沿ったものであったことを心より願っております。

特に、読者の皆様が、本誌を通じてトーゴについてより多く知っていただけたことを願っております。またそのために、このアフリカに笑顔をもたらす美しい国に、近い将来、皆様が実際に訪問して下さることを是非お勧め致します。

とりわけ、トーゴでの体験談を投稿して下さった方々には、心より御礼申し上げます。皆様のおかげで本誌がより豊かになり、これまで刊行を継続して行うことができました。

また、この場をお借りして、「日本トーゴ友好協会」のメンバーおよび読者の皆様に深く感謝申し上げます。皆様のご協力なしでは、この刊行誌は刊行できなかったからです。

本誌にとって新しい1年が始まりますが、より良いものとなっていきますよう、努めて参りたいと存じます。

トーゴ共和国大使館 臨時代理大使

A. D. アクレンソ・ボジョナ



石野紗也子さん
(神戸大学大学院 国際協力研究科)



2012年2月末から3月中旬までの2週間、トーゴで国際ワークキャンプに参加しました。

国際ワークキャンプとは、世界の若者が2～3週間一緒に生活しながら、地域の住民と環境保護・福祉・農村開発等に取り組む、国際ボランティア事業です。私は日本・東アジアで国際ワークキャンプを主催するNICEというNGOのメンバーで、この団体を通して、トーゴのFAGADというNGOが主催する

プログラムに参加しました。(NICE URL: <http://www.nice1.gr.jp/>)

私の活動場所はエッセ・ゾベジという、首都ロメから車で2時間の農村です。主な目的は、村の中学校に図書館を建設することでした。私が参加したのは2009年に開始された数年にわたるプロジェクトのほんの一部で、これまで数回開催されたワークキャンプの参加者によって少しずつ建設が進められています。今回私が参加した時点で建物はほとんど完成に近い状態になり、今後のワークキャンプで本が運び込まれ、図書館として完成することになるようです。

トーゴでは、書籍は日本のように簡単に手に入る状況にはないようで、生徒たちは教科書を使っていません。代わりに、教科内容が詳細に書かれた黒板が教室にあるのを見かけました。現地で小学校と中学校を数校訪問しましたが、子供たちはみんな先生の話をよく聞き、好奇心いっぱい熱心に勉強しています。この図書館が生徒たちの役に立つことを願っています。

帰国して1か月になりますが、日本で暮らしているとトーゴはやはりとても遠くに感じます。それでも、素晴らしい思い出のできたトーゴのことをもっと知りたいし、多くの日本の方に知ってもらいたいです。そしてまたいつか、素敵な友人たちに会いにトーゴに行きたいと思います。

読者の皆様へ

2ヶ月に1回程度、刊行している「トーゴ新聞」が、初めて刊行されてから1周年を迎えました。いつも読んで下さっている皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の様々なご意見をお聞かせいただくことで、本誌はますます皆様のご期待に沿ったものとなるでしょう。次号には皆様のご意見を掲載したいと考えております。よろしければ、下記メールアドレスにご意見をお送り下さい：
togoshimbun@gmail.com



カビエ県のエヴァラ



先日、カビエ県の伝統的な格闘の儀式「エヴァラ」の2012年度版が行われました。お祭り、儀式、伝統的な踊りなどが、トーゴ北部にあるカラの町で1週間程続いた後、去る7月29日に終了致しました。

さて、「エヴァラ」とは何か、皆様ご存じでしょうか？

エヴァラは、カビエ県で行われる伝統的なお祭りです。毎年、7月の第2土曜日から成人の儀式として行われる格闘技です。一般的には、「エヴァル」と呼ばれるカビエ族の成人した若者が、他の成人したカビエ族の若者と、力、勇気、忍耐、踊りの優雅さなどを競う機会です。

このお祭りによって、18歳の若者が大人の仲間入りをします。

格闘の儀式は1週間に渡って続き、トーゴ北部にあるカラのコザー県全域で行われます。

このお祭りは、数々の文化的イベントによって特徴付けられます。

縁日、文化的なパーティー、コンサート、歌、踊り、伝統的物語の読み聞かせ、演劇などが催されます。



Club des amis du Togo

2011年11月に「日本トーゴ友好協会」が発足致しました。目的は、日本とトーゴの間に構築された友好協力関係を、さらに強化することです。本協会メンバーは、日本におけるトーゴのプロモーション活動を行い、積極的に当大使館にご協力して下さっています。あなたもメンバーになって、西アフリカにあるトーゴというこの美しい国の魅力を分け合いませんか？是非ご連絡下さい。

日本トーゴ友好協会HP：<http://togo-friends.com/>

Facebook：<http://www.facebook.com/togo.friends>

日本トーゴ友好協会

PHOTO DU MOIS



2012年ロンドン・オリンピックに参加したトーゴ代表選手たち

今月の写真

